

令和3年度総合評価方式（特別簡易型）における 評価項目、加算点及び評価基準（環境林務部）

◇土木一式工事（5千万円以上1億3千万円未満）

評価項目及び加算点		評価基準	提出書式
企業の 施工 能力 5.5点	過去10年間における国（九州内）又は県の表彰実績 ○ 表彰実績あり (0.5 点) ○ 実績なし (0.0 点) ※当該案件の入札公告日までに表彰を受けたものを含む。	平成23年度から令和3年度において、単独の元請又は共同企業体の構成員として、林野庁九州森林管理局発注工事、本県（土木部・農政部・環境林務部）優良工事等表彰実施要領に基づき、優良工事表彰（建築課所管発注工事を除く）を受けた企業であるか。ただし、令和3年度においては、入札公告日までに優良工事表彰を受けているものに限る。（表彰決定通知書等含む）	[様式1]
	過去5年間における国（県内）又は県の同種工事の施工実績 ○ 実績あり (0.5 点) ○ 実績なし (0.0 点)	平成28年度から令和2年度までに完成検査を受けた下記①及び②のいずれかの工事において、単独の元請又は共同企業体の構成員として、県内における同種工事の施工実績を有するか。 ①県環境林務部発注工事 ②林野庁九州森林管理局発注工事	[様式2]
	過去5年間の同種工事の工事成績の平均点 ○ 83点以上 (3.0 点) ○ 78点以上83点未満 (2.9 ~ 0.1 点) （工事成績の平均点-78）×2.9/5+0.1 小数点以下第2位を切り捨て ○ 78点未満 (0.0 点)	平成28年度から令和2年度までに完成検査を受けた県環境林務部発注の同種工事において、単独の元請及び共同企業体の構成員における工事成績平均点は何か。	
	経営事項審査における経営状況 ○ 900点以上 (0.30 点) ○ 800点以上900点未満 (0.25 点) ○ 700点以上800点未満 (0.20 点) ○ 600点以上700点未満 (0.15 点) ○ 500点以上600点未満 (0.10 点) ○ 500点未満 (0.00 点)	平成31年4月1日から令和2年3月31日の間を審査基準日とする経営事項審査（ただし、審査基準日をこの期間中に設定した経営事項審査を受けていない場合は、直近の経営事項審査）によるV評点（経営状況）は何か。	
	経営事項審査における技術力 ○ 1,100点以上 (0.20 点) ○ 1,000点以上1,100点未満 (0.15 点) ○ 900点以上1,000点未満 (0.10 点) ○ 900点未満 (0.00 点)	平成31年4月1日から令和2年3月31日の間を審査基準日とする経営事項審査（ただし、審査基準日をこの期間中に設定した経営事項審査を受けていない場合は、直近の経営事項審査）によるZ1点（技術職員の数の点数）は何か。	
	受注工事量 ○ 0件=受注工事量 (1.0 点) ○ 1件=受注工事量 (0.5 点) ○ 2件=受注工事量 (0.0 点) ○ 3件=受注工事量 (-0.5 点) ○ 4件≤受注工事量 (-1.0 点) ※一般土木工事（5千万～3億円未満）のみを受注件数の対象とする。	当該年度受注工事量は、令和3年4月1日公告開始日から当該公告案件の開札日前日までに落札候補者又は落札決定された工事件数で、鹿児島県環境林務部発注工事のうち、総合評価方式対象の5千万円～3億円の土木一式工事を対象とする。	
配置 予定 技術者 の能力 1.5点	過去10年間における国（九州内）又は県の表彰実績 ○ 現在の会社での表彰実績あり (0.5 点) ○ 上記以外での表彰実績あり (0.3 点) ○ なし (0.0 点) ※当該案件の入札公告日までに表彰を受けたものを含む。 ※担い手育成加算 ○ 配置予定技術者（40歳未満） (0.3 点) ○ 配置予定技術者（40歳以上45歳未満） (0.2 点)	平成23年度から令和3年度において、単独の元請又は共同企業体の構成員として、林野庁九州森林管理局発注工事、本県（土木部・農政部・環境林務部）優良工事等表彰実施要領に基づき、優秀技術者表彰（建築課所管発注工事を除く）を受けた技術者であるか。ただし、令和3年度においては、入札公告日までに優良技術者表彰を受けているものに限る。（表彰決定通知書等含む） 【担い手育成加算】 配置予定技術者が次の①～③の条件をすべて満たす場合、上段の表彰実績に担い手育成加算の評価点を加える。 ① 入札公告日において満45歳未満の者 ② 平成28年4月1日以降に環境林務部が発注する建設工事における同種工事の主任（監理）技術者又は現場代理人の実績のある者 ③ ②の工事成績の最大点が77点以上である者 なお、表彰実績の評価点と担い手加算の合計は0.5点を上限とする。	[様式3]
	過去2年間のCPDS（1級土木施工管理技士）又は森林分野CPDそれぞれの単位取得状況 ○ 推奨以上 (1.0 点) ○ 推奨未満 (0.5 点) ○ なし (0.0 点)	① 1級土木施工管理技士の資格保有者について、令和元年度から令和2年度において、（一社）全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）で取得した単位数がどの程度か。 ・推奨単位数：20ユニット ② 令和元年度から令和2年度において、（一社）森林・自然環境技術者教育会（JAFEE）の継続学習制度（CPD）で取得した単位数がどの程度か。 ・推奨単位数：20ユニット	[様式3-1]
地域 貢献度 3.0点	営業所の有無 ○ 工事箇所の所在する市町村内で主たる営業所（2年以上設置）あり (1.0 点) ○ 工事箇所の所在する市町村内で10名以上の営業所あり (0.8 点) ○ 工事箇所の所在する振興局・支庁管内主たる営業所（2年以上設置）あり (0.6 点) ○ 工事箇所の所在する振興局・支庁管内10名以上の営業所あり (0.3 点) ○ 上記以外 (0.0 点)	左記箇所に営業所を有するか。 ※薩摩川内市の本土地区と甑島地区は、別市町村の取扱い	[様式4-1]
	地域への貢献（市町村又は振興局・支庁内） ① 過去5年間のボランティア活動等による地域貢献の実績 ② 前年度の山地防災ヘルパー活動実績 ③ 消防団員雇用 ④ 地球温暖化対策の活動実績 ⑤ 過去2年間の防疫活動実績 ○ 工事箇所の所在する市町村内で①～⑤の実績有り（1項目あたり0.4点） 1.4 ○ 工事箇所の所在する振興局・支庁管内で①～⑤の実績有り（1項目あたり0.2点） (~ 点) ○ ①～⑤の実績なし (0.0 点) ※①～⑤の評価点の合計は1.4点を上限とする。	地域への貢献（市町村又は振興局・支庁内） ① 平成28年度から令和2年度までの5年間において、年1回以上、延べ5回以上、公共施設への要護活動や森林整備活動、林道沿線の清掃活動を行った実績があるか。 ② 前年度に山地防災ヘルパーに登録している社員を雇用し山地防災ヘルパーの活動を行ったことがあるか。 ③ 消防団員に所属している社員を現在雇用しているか。 ただし、令和2年度までに消防団員証の交付又は消防団協力事業所の表示証を受けている者に限る。 ④ 環境マネージメントシステムの導入、温室効果ガス排出抑制計画に基づく温暖化対策の実践活動、「かごしまCO2吸収量認証制度」で認証された森林整備の地球温暖化対策活動を現在行っているか。 ⑤ 令和元年度から令和2年度までの2年間において、家畜伝染病予防法に基づく防疫活動実績があるか。	① [様式4-2] ② [様式4-3] ③ [様式4-4] ④ [様式4-5] ⑤ [様式4-5]
	市町村との森林災害協定 ○ 工事箇所の所在する市町村内で森林災害協定の締結 (0.6 点) ○ 工事箇所の所在する振興局・支庁管内で森林災害協定の締結 (0.3 点) ○ 上記以外 (0.0 点)	森林災害協定を市町村と入札公告日までに締結しているか。 ※薩摩川内市の本土地区と甑島地区は、別市町村の取扱い	[様式4-6]
	合計	10.0 点	

鹿児島県 環境林務部 総合評価方式技術資料申請書様式

◇土木一式（一般競争入札） 5千万円以上1億3千万円未満

1 配付資料

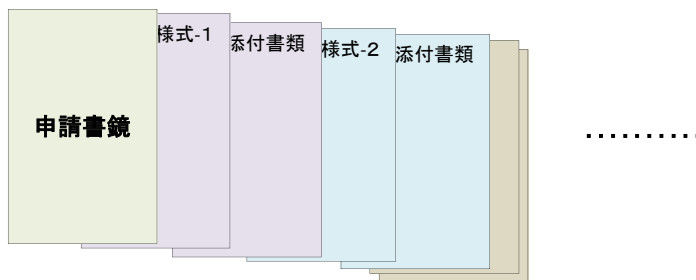
- | | |
|---------------------------|-----------|
| (1) 技術資料の提出様式及び添付書類一覧 | 1式 |
| (2) 総合評価方式技術資料申請書（提出様式含む） | 1式（12枚綴り） |
| (3) 技術資料作成時の留意事項 | 1式（3枚綴り） |
| (4) ボランティア活動の定義等 | 1式（2枚綴り） |
| (5) 証明書の例（消防団、災害協定） | 1式（2枚綴り） |

2 総合評価方式技術資料の提出

- | | |
|----------|----------------------------|
| (1) 提出方法 | 持参又は、郵送（一般、簡易書留）により送付すること。 |
| (2) 提出部数 | 1部 |
| (3) 受付期間 | 入札公告等参照 |
| (4) 受付時間 | 午前8時30分から午後5時15分まで |
| (5) 受付場所 | 入札公告等参照 |

3 その他

- (1) 申請書等の編綴について
綴じずにクリップ留め等の状態とし、添付書類は申請書鏡の『1 提出資料』の順に、関連様式の後ろに添付すること。



- (2) 技術資料の作成方法について
技術資料については、上記「1 配付資料」に基づき作成すること。
- (3) 提出資料の修正等について
技術資料提出後における資料の修正は、技術資料提出期間に限り認めるものとする。
また、技術資料に不明な点がある場合、発注者が確認を行い追加資料を求める場合がある。
（但し、新たな評価対象となる項目の追加資料の意味ではない）
- (4) 地域貢献度に関する添付資料の注意
- ・様式4-2：①(1)公共施設へのボランティア活動，(2)森林整備活動，(3)林道沿線の清掃
 - ・様式4-3：②山地防災ヘルパー活動
 - ・様式4-4：③消防団員雇用
 - ・様式4-5：④地球温暖化対策活動，⑤防疫実績活動
 - ・様式4-6：市町村との森林災害協定
- ①に3項目あるが、評価は(1)～(3)のいずれかの実績を有すればよい。
但し、技術資料提出期限日以降の追加提出は認めず、提出された添付資料で実績が確認できない場合評価の対象とならなくなることもあるため、2以上の添付資料を提出することは差し支えない。
- (5) 同種工事について
環境林務部の総合評価における同種工事とは、森林土木工事(治山工事，林道工事)である。

技術資料の提出様式及び添付書類一覧

■ 実績の有無に限らず【提出様式】は提出必須

◇土木一式（一般競争入札） 5千万円以上 1億3千万円未満

評価項目		提出様式 (必須)	実績を有する場合の添付書類(◎：必須、※：必要に応じ)
企業の 施工 能力	過去10年間における国（九州内）又は県の表彰実績 ※当該案件の入札公告日までに表彰を受けたものを含む。	[提出様式1]	◎表彰状又は表彰決定通知書等（当年度のみ）の写し
	過去5年間における国（県内）又は県の同種工事の施工実績	[提出様式2]	◎コリンズの工事カルテ及び竣工登録工事カルテ受領書の写し又はコリンズの登録内容確認書の写し ※コリンズ登録がないもの、工種の判断ができないものは、実績証明書を添付
	過去5年間の同種工事の工事成績の平均点		県で確認するため、提出書類なし
	経営事項審査における経営状況		県で確認するため、提出書類なし
	経営事項審査における技術力		県で確認するため、提出書類なし
	受注工事量		県で確認するため、提出書類なし
技術 配置 の 予 定 力	過去10年間における国（九州内）又は県の表彰実績 ※当該案件の入札公告日までに表彰を受けたものを含む。 ※当該案件の入札公告日までに表彰を受けたものを含む。	[提出様式3]	◎表彰状又は表彰決定通知書等（当年度のみ）の写し ※健康保険被保険者証の写し又は、社会保険事務所発行の被保険者記録照会回答票の写しなど
	過去2年間のCPDS（1級土木施工管理技士）又は森林分野CPD単位取得状況 ※CPDS、CPDどちらか一方を選択する。	[提出様式3-1]	◎1級土木施工管理技士の合格証明書等の写し ◎全国土木施工管理技士連合会が発行する学習履歴を証明する証明書の写し ◎（公社）森林・自然環境技術教育研究センターが発行する学習履歴を証明する証明書の写し
営業所の有無	[提出様式4-1]	【主たる営業所の場合】 以下のいずれかのうち直近のもの ※主たる営業所に係る「営業所の変更（新設）届出書」の写し （平成31年3月31日以前の受付印のあるもの） ※建設業許可申請書の表紙及び営業所一覧の写し （平成31年3月31日以前の受付印のあるもの） 【従業員10名以上の営業所の場合】 ◎建設業法第2条関係様式第4号の「使用人数」の写し ◎「営業所の変更（新設）届出書」の写し ◎建設業許可申請書の表紙及び営業所一覧の写し ◎営業所所在市町村の法人市町村民税の確定申告書の写し 上記は、いずれも公告日以前のうち直近のもの ◎当該営業所に係る従業員名簿	
地域 貢 献 度	地域への貢献		
	① 過去5年間のボランティア活動等による地域貢献の実績		
	(1) 公共施設への緊急出動、防災パトロール 又は愛護活動の実績	[提出様式4-2]	◎平成28年度～令和2年度の活動について、各年度ごとに、活動状況写真1枚以上又は新聞記事若しくは掲載されたホームページの写し等
	(2) 森林整備活動の実績		
	(3) 林道沿線の清掃活動の実績		
	② 前年度の山地防災ヘルパーの活動実績	[提出様式4-3]	◎山地防災ヘルパー認定書の写し ◎山地防災ヘルパー活動報告書又は研修実績の写し
	③ 前年度の消防団員雇用	[提出様式4-4]	◎健康保険被保険者証の写し ◎次の①②のいずれか ①消防団員証の写し（表と裏） ②市町村又は消防団の証明書の写し
④ 地球温暖化対策の活動実績	[提出様式4-5]	◎次の①～③のいずれか ①ISO14000シリーズの認証書の写し ②温室効果ガス排出抑制計画書の写し ③かごしまCO2吸収量認証書の写し	
⑤ 過去2年間の防疫活動実績	[提出様式4-5]	◎作業依頼書の写し又は公共機関の証明書の写し ◎実施年月日、実施場所がわかる作業分担表や出面表の写し又は活動状況写真（2枚）又は新聞記事若しくは掲載されたホームページの写し	
市町村との森林災害協定の締結	[提出様式4-6]	◎市町村との間で締結された森林災害協定書の写し ※市町村との災害協定を締結している団体に加入している場合には、当該団体の証明書の写し	

- 注) 1. 書類は全てA4サイズで作成すること。
 2. 各様式はパソコン等で作成すること。
 3. 記載内容及び添付資料に疑義が生じた場合、発注者から確認を行うことがある。

(契約 担 当 者) 殿

住 所
商号又は名称
代 表 者

印

総合評価方式技術資料申請書の提出について

○○○○○○工事 (○○工区)

の技術資料を提出します。

添付の様式及び資料の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

また、本入札においては、入札金額とともに本技術資料をもって入札することを誓約します。

提出した技術資料の内容に虚偽が認められた場合、入札無効となっても異議はありません。

なお、提出資料及び問い合わせ先は下記のとおりです。

記

1 提出資料

◇土木一式 (一般競争入札) 5千万円以上 1億3千万円未満

提出様式【必須】	評価項目	
[提出様式1]	企業の施工能力	過去10年間における国(九州内)又は県の表彰実績
[提出様式2]		過去5年間における国(県内)又は県の同種工事の施工実績
[提出様式3]	配置予定技術者の能力	過去10年間における国(九州内)又は県の表彰実績
[提出様式3-1]		過去2年間のCPDS(1級土木施工管理技士)又は森林分野CPD単位取得状況
[提出様式4-1]	地域貢献度	営業所の有無
[提出様式4-2]		①(1)過去5年間のボランティア活動等実績
		①(2)過去5年間における森林整備活動の実績
		①(3)過去5年間における林道沿線の清掃活動の実績
[提出様式4-3]		②前年度の山地防災ヘルパーの活動実績
[提出様式4-4]		③消防団員の雇用
[提出様式4-5]		④地球温暖化対策の活動実績
[提出様式4-5]	⑤過去2年間の防疫活動実績	
[提出様式4-6]	市町村との森林災害協定	
提出不要	企業の施工能力	過去5年間の同種工事の工事成績の平均点
		経営事項審査における経営状況
		経営事項審査における技術力
		受注工事量

2. 問い合わせ先

許可番号 : — (大臣:0, 知事:46)

担当者 :

電話番号 :

[提出様式1]

工 事 名 :

企 業 名 :

【企業の施工能力】
過去10年間における国(九州内)又は県の表彰実績

評価対象期間	平成23年度～令和3年度
○優良工事表彰の有無 ※必ず記載	有 ・ 無

表彰がある場合	表彰名	(例) 鹿児島県環境林務部優良工事表彰
	表彰工事名称	(例) 森林管理道開設 ○○線○工区
	表彰者(機関名)	(例) 鹿児島県環境林務部長
	受賞年月日	(例) 令和○○年○月○日

- 注) 1. 各件ごとに表彰状又は表彰決定通知書等(当年度のみ)の写しを添付すること。
(提出必須)
2. 評価期間は、受賞した工事の完成年度ではなく、受賞年度の期間。
3. 国は林野庁九州森林管理局、県は土木部(建築課所管発注工事を除く)、農政部又は環境林務部発注工事を対象とする。
4. 令和3年度においては、入札公告日までに表彰を受けたものに限る。
(表彰決定通知書等含む)

[提出様式2]

工 事 名 :

企 業 名 :

【企業の施工能力】

過去5年間における国(県内)又は県の同種工事の施工実績

評 価 基 準	
【評価対象期間】	平成28年度～令和2年度に完成検査を受けたもの
【対象工事】	鹿児島県環境林務部発注工事又は林野庁九州森林管理局発注工事
【対象者】	上記工事の単独の元請又は共同企業体の構成員

施工実績の有無 ※必ず記載		有	・	無
実 績 が あ る 場 合	発注機関名			
	工 事 名			
	工 期	令和 年 月 日	～	令和 年 月 日
	同 種 工 事	(例) 林道工事		

注) 1. 同種工事とは、森林土木工事（治山工事、林道工事）である。

2. 同種工事の内容確認のため、本様式にコリンズの工事カルテ及び竣工登録工事カルテ受領書の写し又はコリンズの登録内容確認書の写しを添付すること。（提出必須）
（※コリンズ登録がないもの、工種の判断ができないものは、実績証明書を添付）

工 事 名 :

企 業 名 :

【配置予定技術者の能力】

過去10年間における国(九州内)又は県の表彰実績

評価対象期間		平成23年度～令和3年度に表彰		
○配置予定技術者 ※必ず記載		ふりがな		
		氏名		
○生年月日		昭和・平成	年 月 日	
○優秀技術者表彰の有無 ※必ず記載		有 ・ 無		
表彰実績がある場合	表彰時点の企業名 ※必ず記載	(株)凸凹建設	現在の会社	
	表 彰 名		以前の会社	
	表彰工事名称			
	表彰者(機関名)			
	受賞年月日			
担い手育成加算 ※上記表彰実績がある場合のみ加算	担い手育成加算希望の有無	有 ・ 無		
	工事の実績 (環境林務部発注の工事に限る)	発注機関	○○地域振興局 環境林務部	
		工事名	(例) 森林管理道開設 ○○線○工区	
		工 期	○○年○○月○○日 ～ ○○年○○月○○日	
		工事の種類	林道工事	
		役割り	主任技術者	
工事成績	82点			

- 注) 1. 配置技術者を複数提出する場合は、各候補者毎に資料を作成すること。
 2. 表彰の評価期間は、受賞した工事の完成年度ではなく、受賞年度の期間。
 3. 令和3年度においては、入札公告日までに優良技術者表彰を受けているものに限る。(表彰決定通知等含む)
 4. 表彰実績の有無に限らず、「○」の配置予定技術者、実績の有無は記載すること。
 5. 表彰状の写し(令和2年度に表彰が決定しているが表彰日が未到来の場合は当該表彰決定通知書等の写し)を添付すること。(提出必須)
 6. 現在の会社で表彰を受けた技術者で、表彰状の写しに企業名が表示されていない場合は、表彰の時点で現在の会社に所属していたことを証する書類(健康保険証の写し又は、社会保険事務所発行の被保険者記録照会回答票の写し等)を添付すること。
 7. 表彰実績の対象となる工事については、国は林野庁九州森林管理局、県は土木部(建築課所管発注工事を除く)、農政部又は環境林務部発注工事を対象とする。
 8. 担い手育成加算対象年齢の配置予定技術者の場合、加算希望の有無を記載すること。加算対象者の年齢は入札公告日において、45歳未満。加算希望の記載がない場合は、対象者であっても加算を希望しないものとみなす。
 9. 担い手加算希望をする場合は、年齢確認のため、健康保険証の写しを添付すること。
 10. 担い手育成加算に係る工事の実績は、環境林務部が発注する建設工事に限る。
 11. 担い手育成加算に係る工事の実績は、工期の始期が平成28年4月1日以降の工事、主任(監理)技術者又は現場代理人の実績を有するものを担い手加算の対象とする。
 12. 担い手育成加算に係る工事の種類欄には、治山工事・林道工事の別を記載すること。
 13. 担い手育成加算に係る工事の実績については、工事成績が77点以上の工事について記載すること。
 14. 担い手育成加算に係る工事の内容確認のため、本様式にコリンズの工事カルテ及び竣工登録工事カルテ受領書の写し又はコリンズの登録内容確認書の写しを添付すること。(提出必須)
 (※コリンズ登録がないもの、工種の判断ができないものは、実績証明書を添付)
 15. 担い手育成加算に係る工事の工事成績確認のため、発注者からの当該工事の工事成績通知書を添付すること。(提出必須)

工 事 名:

企 業 名:

【配置予定技術者の能力】

●どちらか一方を選択し、※□に「○」を付ける。

※

過去2年間のCPDS単位取得状況 (1級土木施工管理技士)

○配置予定技術者 ※必ず記載		ふりがな 氏名		
評価対象期間		令和元年度に単位取得	令和2年度に単位取得	計
取得単位数 ※必ず記載				
CPDSを 取得済みの 場合	技術者資格名	1級土木施工管理技士		
	合格証明書 交付年月日			
	合格証明書 交付番号			

- 注) 1. 配置技術者を複数提出する場合は、各候補者毎に資料を作成すること。
 2. CPDSの評価は、1級土木施工管理技士有資格者の継続学習教育に限って評価する。
 3. 1級土木施工管理技士の合格証明書等の写しを添付すること。(提出必須)
 4. 全国土木施工管理技士連合会が発行する学習履歴を証明する証明書の写しを添付すること。(提出必須)
 なお、連合会に証明書を申請する際は、当該年度の実績を証明するため、証明日欄には当該年度末日を記載すること。(過去2年間の実績が記載されている証明書の写しでも可)
 5. 上記連合会以外の証明書(研修会主催者が発行する受講証明等)は対象外とする。
 6. やむを得ない場合を除き、配置予定技術者の変更は認めない。

※

過去2年間の森林分野CPD単位取得状況

○配置予定技術者 ※必ず記載		ふりがな 氏名		
評価対象期間		令和元年度に単位取得	令和2年度に単位取得	計
取得単位数 ※必ず記載				
森林分野 CPDを 取得済みの 場合	技術者資格名			
	合格証明書 交付年月日			
	合格証明書 交付番号			

- 注) 1. 配置技術者を複数提出する場合は、各候補者毎に資料を作成すること。
 2. 技術者が取得している資格名を記入し、合格証明書等の写しを添付すること。(提出必須)
 3. (公社)森林・自然環境技術教育研究センターが発行する学習履歴を証明する証明書の写しを添付すること。
 (提出必須)
 なお、センターに証明書を申請する際は、当該年度の実績を証明するため、証明日欄には当該年度末日を記載すること。(過去2年間の実績が記載されている証明書の写しでも可)
 4. 取得単位数が「0単位」の場合は「無」を記入すること。
 5. やむを得ない場合を除き、配置予定技術者の変更は認めない。

工 事 名 :

企 業 名 :

【地域貢献度】 営業所の有無

評価対象	該当 ※必ず記載
(1) 工事箇所の所在する市町村内に主たる営業所(2年以上設置)あり	(例) ○
(2) 工事箇所の所在する市町村内に営業所(従業員10名以上)あり	
(3) 工事箇所の所在する振興局・支庁管内に主たる営業所(2年以上設置)あり	
(4) 工事箇所の所在する振興局・支庁管内に営業所(従業員10名以上)あり	
(5) 上記以外	

注) 1. (1)~(5)のいずれか該当するものに「○」を記載すること。

2. 主たる営業所における2年以上の設置の有無については、平成31年3月31日以前に設置したものに限り。

3. (1)及び(3)においては、次のいずれかのうち直近の資料を添付すること。(提出必須)
・平成31年3月31日以前の日付で受付印のある主たる営業所に係る「営業所の変更(新設)届出書」(様式第二十二号の二 第一面及び第二面)の写し。
又は、
・平成31年3月31日以前の日付で受付印のある建設業許可申請書の表紙及び営業所一覧(別紙二(2)又は別紙二(1))の写し。

4. (2)及び(4)においては、次の資料を添付すること。(提出必須)
・建設業法第2条関係様式第4号の「使用人数」の写し。(直近のもの)
・「営業所の変更(新設)届出書」(様式第二十二号の二 第一面及び第二面)の写し(直近のもの)
又は、
・建設業許可申請書の表紙及び営業所一覧(別紙二(2)又は別紙二(1))の写し(直近のもの)
・営業所所在市町村の法人市町村民税の確定申告書の写し(直近のもの)
・別添様式「当該営業所に係る従業員名簿」
※ここでの直近のものとは、公告日以前のうち直近のものとする。

5. 入札参加申込書の提出期限の日に設置されている営業所を対象とする。

別添様式

当該営業所に係る従業員名簿

企業名	(株)〇〇建設				
営業所名	△△営業所				
住所	〇〇市△△町1-2-4				
設置年月日	平成〇年〇月〇日				
従業員数	総従業員数				
	①+②+③ 10 名	① 3 名	② 2 名	③ 5 名	
(注) ①：うち建設業法第7条又は第15条に規定する技術者 ②：うち上記①以外の技術者 ③：うち事務職員					
[従業員名簿] (10名を超える場合も10名分の記載でよい。)					
	氏名	生年月日	性別	上記(注)欄の適用	住所
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
	(記入例)				
	鹿児島 太郎	S43.7.6	男	①	〇〇市△△町1-2-4

※ 本様式に記載する従業員は、別途添付「使用人数」に記載の該当営業所従業員とする。
(「使用人数」(様式第四号)の記載要領に定める日における従業員、住所等とする。)

従業員数が相違する理由

別紙提出「法人市町村民税の確定申告書」記載営業所所在市町村の従業者数と上記「従業員数」記載の数が相違する場合、その理由を記載すること。

(記入例) 令和〇年〇月△日付けで人事異動があったため。

工 事 名 :

企 業 名 :

①(1)(2)(3)過去5年間のボランティア活動等による地域貢献の実績

評価対象期間		平成28年度～令和2年度に活動		添付資料の有無
継続的な活動実績の有無 ※必ず記載		市町村内有 ・ 局内有 ・ 無		有 ・ 無
実績がある場合（上表で実績が「有」の場合、添付資料の有無に限らず記載すること）				
年度	実施年月日	実施場所・実施内容		
平成28年度		場所		市町村名
		内容		
平成29年度		場所		市町村名
		内容		
平成30年度		場所		市町村名
		内容		
令和元年度		場所		市町村名
		内容		
令和2年度		場所		市町村名
		内容		

- 注) 1. 企業としての実績を記載すること。
2. 実施内容は、概要が判明する程度で記載すること。
3. 実施場所は、公共施設の名称及び所在地、林道路線名、森林整備の場合は森林所有者名及び所在地を記載すること。
4. 年1回以上、5年間で延べ5回以上の継続的な活動を評価し、実施していない年度が1年度でもある場合は、全体として評価しない。
5. 「道の日」の活動実績については、実績の対象としない。
6. ボランティア活動を証明する資料としては、活動状況写真（なるべく背景がわかるものを1枚以上）又は新聞記事若しくは掲載されたホームページの写し等を添付すること。（提出必須）
※活動状況写真を添付する場合は、着手前、作業中、完了の写真（なるべく全景がわかるもの）とし、
写真には黒板を入れ、作業日の日付を入れたものとする。
7. 上述6の活動を証明する資料に代えて、公的機関の証明書があれば評価する。
8. ここでのボランティアには、サポート事業、業務委託等の有償によるもの（工事のイメージアップによる活動や業務委託等）、民間団体のPR活動、公共施設以外での愛護活動は含まない。
9. 森林整備活動は、県、市町村、NPO団体等が行う「森林整備」活動に会社として参加したものを評価する。活動状況写真（なるべく背景がわかるものを1枚以上）又は新聞記事若しくは掲載されたホームページの写し等を添付すること。（提出必須）
10. 林道沿線の清掃活動は、会社として参加したものを評価する。活動状況写真（なるべく背景がわかるものを1枚以上）又は新聞記事若しくは掲載されたホームページの写し等を添付すること。（提出必須）
11. 上述9及び10の活動状況写真については、着手前、作業中、完了の写真（なるべく全景がわかるもの）とし、写真には黒板を入れ、作業日の日付けを入れたものとする。
なお、活動を証明する資料については上述6、7に準ずる。

工 事 名 :

企 業 名 :

② 前年度の山地防災ヘルパーとしての活動実績

評価対象期間	現在雇用, 令和2年度に活動	添付資料の有無
現在雇用の有無※必ず記載	有 ・ 無	有 ・ 無
前年度の活動実績	市町村内有 ・ 局内有 ・ 無	有 ・ 無

実績がある場合（上表で実績が「有」の場合、添付資料の有無に限らず記載すること）

氏 名	活動場所（推薦市町村）

活動実績	活動内容	
①山地防災ヘルパー活動	年月日	
	活動内容	
②研修会への参加	研修会の名称	
	開催年月日	
	開催場所	

- 注) 1. 自社（連結決算会社も含む）の常時雇用労働者に限り、職種（技術職、事務職等）は問わない。
 なお、社長が山地防災ヘルパーの場合も該当する。
2. 山地防災ヘルパーの氏名、事業所、雇用年月日が確認できる健康保険被保険者証の写し等を添付すること。（提出必須）
3. 山地防災ヘルパーの活動場所は、ヘルパーの認定を推薦した市町村内である。従って、他地区（市町村）で開催された研修会に参加した場合も、推薦市町村での活動実績とする。
4. 活動実績は、前年度の①山地災害に関する情報の収集、災害時要援護者関連施設・山地災害危険地区の周知、自主防災組織の育成強化などの山地防災ヘルパー活動、②県又は協議会が開催する山地防災ヘルパー研修会への参加等を記載すること。
5. 活動実績の証明書類として、山地災害ヘルパー活動報告書の写し又は活動を証明する書面（任意様式、写真、野帳等）を添付する。（提出必須）
6. 証明書類として、山地防災ヘルパー認定証の写しを添付する。（提出必須）

工 事 名 :

企 業 名 :

③ 消防団員の雇用

評価対象期間	現在	添付資料の有無
雇用の有無※必ず記載	市町村内有 ・ 局内有 ・ 無	有 ・ 無

実績がある場合（上表で実績が「有」の場合、添付資料の有無に限らず記載すること）

氏 名	所属する消防団の所在地 (市町村名)	交付年月日
		令和 年 月 日

- 注) 1. 令和2年度までに消防団員証の交付又は消防団協力事業所の表示証を受けているものに限る。
2. 自社（連結決算会社も含む）の常時雇用労働者に限り、職種（技術職、事務職等）は問わない。
なお、社長が消防団員の場合も該当する。
3. 消防団員の氏名、事業所、雇用年月日が確認できる健康保険被保険者証の写し等を添付すること。
(提出必須)
4. 証明書類として、下記の①、②のいずれかを添付すること。(提出必須)
- ① 消防団員証の写し(表と裏)
 - ② 市町村又は消防団の証明書の写し
- ※①の消防団員証については、現在保持しているものの写しを添付する。
②については、消防団員となった日付け（交付年月日、任命日等）を記載の上、市町村又は消防団から証明書の交付を受けること。

工 事 名 :

企 業 名 :

④ 前年度の地球温暖化対策などの環境保全活動実績

評価対象期間	令和2年度まで、公告日までに	添付資料の有無
活動実績の有無※必ず記載	市町村内有 ・ 局内有 ・ 無	有 ・ 無

(1)～(3)のいずれかの実績がある場合(上表で実績が「有」の場合、添付資料の有無に限らず記載すること)

(1) ISO14000シリーズの認証	(例) ○
(2) 鹿児島県地球温暖化対策推進条例の取組み	
(3) かごしまCO2吸収量認証制度による森林整備活動	

- 注) 1. 企業としての実績について、(1)～(3)のいずれか該当するものに「○」を記入すること。
(※添付資料が無い場合は評価対象外とする)
2. (1)については、認証を令和2年度までに受けていること。
実績は、当該市町村内、振興局・支庁管内に設置している営業所が認証を受けているものに限る。
また、評価は当該公告案件の入札説明書に記載の開札日の時点で認証が有効期間内にあるものとする。
なお、開札日前に認証の有効期間が満了し、継続審査中のものは審査機関の証明書(継続審査中であることを示すもの)を添付すること。
登録証(当該営業所が認証を受けていることが分かる付属票も含め)の写しを添付すること。
(提出必須)
3. (2)については、当該案件の公告日までに「温室効果ガス排出抑制計画書」を提出し、受付されていること。
実績は、取組みの場所在当該工事箇所のある市町村内又は振興局・支庁内であること。
また、評価期間内に提出した、条例に基づく「温室効果ガス排出抑制計画書」の写しを添付すること。
(提出必須)
4. (3)については、当該案件の公告日までに「かごしまCO2吸収量認証制度」の認証を受けていること。
実績は、認証された活動場所在当該工事箇所のある市町村内又は振興局・支庁内であること。
また、評価期間内に認証を受けた「かごしまCO2吸収量認証制度」の認定証の写しを添付すること。
(提出必須)

⑤ 過去2年間における家畜伝染病予防法に基づく防疫活動実績

評価対象期間	令和元年度～令和2年度に活動	添付資料の有無
活動実績の有無※必ず記載	市町村内有 ・ 局内有 ・ 無	有 ・ 無

実績がある場合(上表で実績が「有」の場合、添付資料の有無に限らず記載すること)

年度	実施年月日	実施場所・実施内容	
令和		実施場所	(例) 国道〇〇号 〇〇市 〇〇地内
		実施内容	
年度		消毒ポイント設置者	県 ・ 市町村 (例) 〇〇市

- 注) 1. 企業としての実績を記載すること。(※添付資料が無い場合は評価対象外とする)
2. 評価対象は、口蹄疫や鳥インフルエンザ等における、県又は市町村が設置した消毒場所での消毒活動等の実績とする。
3. 証明書類として、次の①及び②を提出すること。(提出必須)
- ① 作業依頼文書(県、市町村や協会支部からの連絡文書等)の写し
又は公共機関(県、市町村)の証明書の写し
- ② 実施年月日、実施場所が分かる作業分担表や出面等の写し
又は活動状況写真(2枚)又は新聞記事若しくは掲載されたホームページの写し

工 事 名 :

企 業 名 :

⑤ 市町村との森林災害協定

市町村との森林災害協定を締結している団体への加入状況	団体への加入の有無	添付資料の有無
	有 ・ 無	有 ・ 無

市町村との森林災害協定を締結している団体に加入している場合

(上表で加入が「有」の場合、添付資料の有無に限らず記載すること)

加入団体名	(例)〇〇〇〇会
加入団体と森林災害協定を締結している市町村名	(例)〇〇町
市町村との森林災害協定の名称	(例)森林災害の情報収集等に関する協定

企業単独での市町村との森林災害協定の締結状況	締結の有無	添付資料の有無
	有 ・ 無	有 ・ 無

企業単独で市町村と森林災害協定を締結している場合

(上表で締結が「有」の場合、添付資料の有無に限らず記載すること)

森林災害協定を締結している市町村名	(例)〇〇町
市町村との森林災害協定の名称	(例)森林災害の情報収集等に関する協定

注) 1. 市町村との森林災害協定の内容は概ね次のような内容を含むものとする。

- 森林災害協定には、地震、台風、集中豪雨等により発生した、森林・竹林、山地の災害及び森林土木施設等被害のいずれをも含み、これらの被害状況等無償で情報収集して、市町村等に報告する活動が確認できるものであること。
- 2. 市町村との森林災害協定は入札公告日時点で効力を有するものとする。
- 3. 市町村との森林災害協定を締結している団体に加入している場合には、証明書類として、下記の①及び②を添付すること。(提出必須)
 - ① 市町村との森林災害協定を締結している団体の証明書の写し
 - ② 市町村と当該団体との間で締結された森林災害協定書の写し
 ※①は、別紙「市町村との森林災害協定を締結している団体の証明書の例」を参照
- 4. 企業単独で市町村と森林災害協定を締結している場合には、証明書類として、市町村との間で締結した森林災害協定書の写しのみを添付すること。(提出必須)

技術資料作成時の留意事項

◇土木一式（一般競争入札） 5千万円以上1億3千万円未満

評価項目	記載内容に関する留意事項	
企業の 施工 能力	<p>過去10年間に於ける国（九州内）又は県の表彰実績 ※当該案件の入札公告日までに表彰を受けたものも含む。</p>	<p>◎ 平成23年度から令和3年度において、単独の元請又は共同企業体の構成員として、林野庁九州森林管理局発注工事、本県（土木部・農政部・環境林務部）優良工事等表彰実施要領に基づき、優良工事表彰（建築課所管発注工事を除く）を受けた企業であるか。</p> <p>注1. 各件ごとに表彰状又は表彰決定通知書等（当年度のみ）の写しを添付すること。（提出必須） 注2. 評価期間は、受賞した工事の完成年度ではなく、受賞年度の期間。 注3. 国は林野庁九州森林管理局、県は土木部（建築課所管発注工事を除く）、農政部又は環境林務部発注工事を対象とする。 注4. 令和3年度においては、入札公告日までに優良工事表彰を受けているものに限る。（表彰決定通知等含む）</p>
	<p>過去5年間に於ける国（県）又は県の同種工事の施工実績</p>	<p>◎ 平成28年度から令和2年度までに完成検査を受けた下記①又は②のいずれかの工事において、単独の元請又は共同企業体の構成員としての県内における同種工事の施工実績。 ①県環境林務部発注工事 ②林野庁九州森林管理局発注工事を対象としている。</p> <p>注1. 同種工事とは森林土木工事（治山工事、林道工事）である。 注2. 同種工事の内容確認のため、本様式にコリンズの工事カルテ及び竣工登録工事カルテ受領書の写し又はコリンズの登録内容確認書の写しを添付すること。（提出必須）（※コリンズ登録がないもの、工種の判断ができないものは実績証明書を添付）</p>
	<p>過去5年間の同種工事の工事成績の平均点</p>	<p>◎ 平成28年度から令和2年度までに完成検査を受けた県環境林務部発注工事の同種工事において、単独の元請及び共同企業体の構成員における工事成績平均点。 ◎ 県で確認するため、提出書類はなし</p>
	<p>経営事項審査における経営状況</p>	<p>◎ 平成31年4月1日から令和2年3月31日の間を審査基準日とする経営事項審査（ただし、審査基準日をこの期間中に設定した経営事項審査を受けていない場合は、直近の経営事項審査）によるY評点（経営状況）により評価する。 ◎ 県で確認するため、提出書類はなし</p>
	<p>経営事項審査における技術力</p>	<p>◎ 平成31年4月1日から令和2年3月31日の間を審査基準日とする経営事項審査（ただし、審査基準日をこの期間中に設定した経営事項審査を受けていない場合は、直近の経営事項審査）によるZ1点（技術職員の数の点数）により評価する。 ◎ 県で確認するため、提出書類はなし</p>
<p>受注工事量</p>	<p>◎ 当該年度受注工事量は、令和3年4月1日公告開始分から当該公告案件の開札日前日までに落札候補者又は落札決定された工事件数で、県環境林務部発注工事のうち、総合評価方式対象の5千万円～3億円の土木一式工事を対象とする。 ◎ 県で確認するため、提出書類はなし</p>	
（共通）	<p>◎ 技術資料に記載した配置予定技術者は、病気、死亡及び退職等の極めて特別な理由がない限り変更できない。 ◎ 配置予定技術者が特定できない場合、資格等の条件を満たす複数の候補者を配置予定技術者としてとることができるが、その場合、審査については各候補者のうち評価が最も低い者の点数とする。 ◎ 配置技術者を複数提出する場合は、各候補者毎に資料を作成すること。</p>	
配置 予定 技術 者の 能力	<p>過去10年間に於ける国（九州内）又は県の表彰実績 ※当該案件の入札公告日までに表彰を受けたものも含む。</p>	<p>◎ 平成23年度から令和3年度に林野庁九州森林管理局発注工事の優秀技術者表彰、本県（土木部、農政部及び環境林務部）優良工事等表彰実施要領に基づく優秀技術者表彰（但し土木部建築課所管発注工事を除く）を受けた実績とする。 ただし、令和3年度においては、入札公告日までに優良技術者表彰を受けているものに限る。（表彰決定通知等含む）</p> <p>注1. 表彰状又は表彰決定通知書等（当年度のみ）の写しを添付すること。（提出必須） 注2. 現在の会社で表彰を受けた技術者で、表彰状の写しに企業名が表示されていない場合は、表彰の時点で現在の会社に所属していたことを証する書類（健康保険証の写し又は社会保険事務所発行の被保険者記録照会回答票の写し等）を添付すること。 注3. 表彰実績の有無に限らず、「○」の配置予定技術者、実績の有無は記入すること。（提出様式3-1のCPDS又はCPD単位取得状況の該当技術者名も兼ねるため） 注4. 評価期間は、受賞した工事の完成年度ではなく、受賞年度の期間。 注5. 国は林野庁九州森林管理局、県は土木部（建築課所管発注工事を除く）、農政部又は環境林務部発注工事を対象とする。</p>
	<p>過去2年間のCPDS（1級土木施工管理技士）又は森林分野CPDそれぞれの単位取得状況 ※CPDSもしくはCPDどちらか一方を選択する。</p>	<p>◎ CPDSの評価は、1級土木施工管理技士有資格者の継続学習教育に限る。 注1. 土木施工管理技士の合格証明書等の写しを添付すること。（提出必須） 注2. 全国土木施工管理技士連合会が発行する学習履歴を証明する証明書の写しを添付すること。（提出必須） なお、連合会に証明書を申請する際は、当該年度の実績を証明するため、証明日欄には当該年度末日を記入すること。（過去2年間の実績が記載されている証明書の写しでも可） 注3. 上記連合会以外の証明書（研修会主催者発行の受講証明等）は対象外とする。</p> <p>◎ 森林分野CPDSの評価 注1. （公社）森林・自然環境技術教育研究センターが発行する学習履歴を証明する証明書の写しを添付すること。（提出必須） なお、センターに証明書を申請する際は、当該年度の実績を証明するため、証明日欄には当該年度末日を記入すること。（過去2年間の実績が記載されている証明書の写しでも可）</p>

技術資料作成時の留意事項

◇土木一式（一般競争入札） 5千万円以上1億3千万円未満

評価項目	記載内容に関する留意事項	
営業所の有無	<p>注1. 主たる営業所における2年以上の設置の有無については、平成31年3月31日以前に設置したものに限る。</p> <p>注2. 営業所を有する場合は、次の資料を添付すること。（提出必須） 【主たる営業所（2年以上設置）の場合】 以下のいずれかのうち直近のもの ・ 平成31年3月31日以前の日付で受付印のある主たる営業所に係る「営業所の変更（新設）届出書」の写し。 ・ 平成31年3月31日以前の日付で受付印のある建設業許可申請書の表紙及び営業所一覧の写し。 【営業所（従業員10名以上）の場合】 ・ 建設業法第2条関係様式第4号の「使用人数」の写し（直近のもの） ・ 「営業所の変更（新設）届出書」の写し又は、建設業許可申請書の表紙及び営業所一覧の写し。（いずれも公告日以前のうち直近のもの） ・ 営業所所在市町村の法人市町村民税確定申告書の写し（公告日以前で直近のもの） ・ 別添様式「当該営業所に係る従業員名簿」</p> <p>注3. 入札参加申込書の提出期限の日に設置されている営業所を対象とする。</p>	
地域への貢献	<p>・ 様式4-2：①(1)公共施設へのボランティア活動、(2)森林整備活動、(3)林道沿線の清掃活動</p> <p>・ 様式4-3：②山地防災ヘルパー活動</p> <p>・ 様式4-4：③消防団員雇用</p> <p>・ 様式4-5：④地球温暖化対策活動</p> <p>・ 様式4-6：市町村との森林災害協定</p> <p>①に3項目あるが、評価は(1)～(3)の実績を有すればよい。 但し、技術資料提出期限日以降の追加提出は認めず、提出された添付資料で実績が確認できない場合評価の対象とならなくなることもあるため、2以上の添付資料を提出することは差し支えない。</p>	
①過去5年間のボランティア活動等による地域貢献の実績	<p>◎ 平成28年度から令和2年度に年1回以上、延べ5回以上、公共施設への愛護活動等を行った企業としての実績で、対象となる活動の定義は別紙のとおり。</p>	
地域貢献度	(1)公共施設への緊急出動又は防災パトロール、愛護活動の実績	<p>注1. 企業としての実績を記載すること。</p> <p>注2. 実施内容は、概要が判明する程度で記載すること。</p> <p>注3. 年1回以上、5年間で延べ5回以上の継続的な活動を評価し、実施していない年度が1年度でもある場合は、全体として評価しない。</p> <p>注4. 「道の日」の活動実績については、実績の対象としない。</p> <p>注5. ボランティア活動状況写真（なるべく背景がわかるものを1枚以上）又は新聞記事又は掲載されたホームページの写し等を添付すること。（提出必須） 活動の状況写真を添付する場合、着事前、作業中、完了の写真（なるべく全景がわかるもの）とし、写真には黒板を入れ、作業日の日付を入れたものとする。</p> <p>注6. 上記5の活動を証明する資料に代えて、公的機関の証明書があれば評価する。</p> <p>注7. ここでのボランティアには、サポート事業、業務委託等の有償によるもの（工事のイメージアップによる活動や業務委託等）、民間団体のPR活動、公共施設以外での愛護活動は含まない。</p>
	(2)森林整備活動の実績	<p>◎ 平成28年度から令和2年度の5年間に、当該工事箇所の所在する市町村内又は振興局・支庁管内において、県、市町村、NPO団体等が行う「森林整備活動」に会社として参加したものを評価する。</p> <p>◎ 活動状況写真1枚以上又は新聞記事又は掲載されたホームページの写し等を添付すること。また、活動を証明する資料に代えて、公的機関の証明書でも評価する。 なお、活動状況写真については、(1)に準じて撮影したものであること。</p>
	(3)林道沿線の清掃活動の実績	<p>◎ 平成28年度から令和2年度に、当該工事箇所の所在する市町村内又は、振興局・支庁管内において、林道沿線の清掃活動に会社として参加したものを評価する。</p> <p>◎ 活動状況写真1枚以上又は新聞記事又は掲載されたホームページの写し等を添付すること。また、活動を証明する資料に代えて、公的機関の証明書でも評価する。 なお、活動状況写真については、(1)に準じて撮影したものであること。</p>
	②山地防災ヘルパーの活動実績	<p>◎ 山地災害ヘルパーに認定されている社員を現在雇用し、令和2年度に山地防災ヘルパー活動又は研修会参加の活動実績がある場合に評価する。</p> <p>◎ 自社（連結決算会社も含む）の常時雇用労働者に限る。なお、社長が山地防災ヘルパーの場合も該当する。</p> <p>◎ 山地防災ヘルパーの氏名、事業所、雇用年月日が確認できる健康保険被保険者証の写し等を添付すること。（提出必須）</p> <p>◎ 活動場所は、当該山地防災ヘルパーの認定を推薦した市町村とする。</p> <p>◎ 活動実績は、前年度の①山地災害に関する情報の収集、災害時要援護者関連施設・山地災害危険地区の周知、自主防災組織の育成強化などの山地防災ヘルパー活動、②県が開催する山地防災ヘルパー研修会への参加を記載すること。</p> <p>◎ 活動実績の証明書類として、山地災害ヘルパー活動報告書の写し又は活動を証明する書面（任意様式、写真、野帳等）を添付する。</p> <p>◎ 証明書類として、山地防災ヘルパー認定証の写しを添付する。</p>

技術資料作成時の留意事項

◇土木一式（一般競争入札） 5千万円以上1億3千万円未満

評価項目	記載内容に関する留意事項
③ 消防団員の雇用	<p>◎ 消防団に所属している社員の現在での雇用</p> <p>注1. 令和2年度までに消防団員証の交付又は消防団協力事業所の表示証を受けているものに限る。</p> <p>注2. 自社（連結決算会社も含む）の常時雇用労働者に限り、職種（技術職、事務職等）は問わない。なお、社長が消防団員の場合も該当する。</p> <p>注3. 消防団員の氏名、事業所、雇用年月日が確認できる健康保険被保険者証の写し等を添付すること。（提出必須）</p> <p>注4. 証明書類として、下記の①、②のいずれかを添付すること。（提出必須）</p> <p style="margin-left: 20px;">① 消防団員証の写し（表と裏）</p> <p style="margin-left: 20px;">② 市町村又は消防団の証明書の写し</p> <p>※①の消防団員証については、現在保持しているものの写しを添付する。 ※②は、別紙「市町村又は消防団の証明書の例」を参照。</p>
④ 前年度の地球温暖化対策などの環境保全活動実績	<p>◎ 当該工事箇所が所在する市町村内又は振興局・支庁管内での次の(1)～(3)のいずれかの実績</p> <p>(1) 令和2年度までにISO14000シリーズの認証</p> <p>(2) 公告日までに企業としての「鹿児島県地球温暖化対策推進条例」の取組</p> <p>(3) 公告日までに企業としての「かごしまCO2吸収量認証制度」の認証の実績</p> <p>注1. (1)について、市町村又は振興局・支庁管内の実績とは、当該市町村、振興局・支庁管内に設置している営業所が認証を受けているものに限る。 また、評価は当該公告案件の入札説明書に記載の開札日の時点で認証が有効期間内にあるものとする。なお、開札日前に認証の有効期間が満了し、継続審査中のものは審査機関の証明書（継続審査中であることを示すものを添付すること。 登録証（当該営業所が認証を受けていることが分かる付属票も含め）の写しを添付すること。（提出必須）</p> <p>注2. (2)について、市町村又は振興局・支庁局内での実績とは、取組みの場所が当該工事箇所が所在する市町村又は振興局・支庁内であること。 また、評価期間内に提出した、条例に基づく「温室効果ガス排出抑制計画書」の写しを添付すること。（提出必須）</p> <p>注3. (3)について、市町村又は振興局・支庁局内での実績とは、認証された活動場所が当該工事箇所の所在する市町村又は振興局・支庁内であること。また、評価期間内に認証を受けた「かごしまCO2吸収量認証制度」の認定証の写しを添付すること。（提出必須）</p>
⑤ 過去2年間における家畜伝染予防法に基づく防疫活動実績	<p>◎ 令和元年度から令和2年度に、「家畜伝染病予防法」に基づく消毒作業等の実績で、評価対象は口蹄疫や鳥インフルエンザ等における、県又は市町村が設置した消毒場所での企業としての消毒活動等の実績。</p> <p>注1. 証明書類として、次の①及び②を提出すること。（提出必須）</p> <p style="margin-left: 20px;">① 作業依頼文書（県、市町村や協会支部からの連絡文書等）の写し又は公共機関（県、市町村）の証明書の写し。</p> <p style="margin-left: 20px;">② 実施年月日、実施場所が分かる作業分担表や出面等の写し又は活動状況写真（2枚）又は新聞記事又は掲載されたホームページの写し。</p>
市町村との森林災害協定	<p>注1. 市町村との森林災害協定の内容は概ね次のような内容を含むものとする。 森林災害協定には、地震、台風、集中豪雨等により発生した、森林・竹林、山地の災害及び森林土木施設等被害のいずれをも含み、これらの被害状況等を無償で情報収集して、市町村等に報告する活動が確認できるものであること。</p> <p>注2. 市町村との森林災害協定は入札公告日時点で効力を有するものとする。</p> <p>注3. 市町村との森林災害協定を締結している団体に加入している場合には、証明書類として、下記の①及び②を添付すること。（提出必須）</p> <p style="margin-left: 20px;">① 市町村との森林災害協定を締結している団体の証明書の写し</p> <p style="margin-left: 20px;">② 市町村と当該団体との間で締結された森林災害協定書の写し</p> <p style="margin-left: 40px;">※①は、別紙「市町村との森林災害協定を締結している団体の証明書の例」を参照</p> <p>注4. 企業単独で市町村と森林災害協定を締結している場合には、証明書類として、市町村との間で締結した森林災害協定書の写しのみを添付すること。（提出必須）</p>

地域貢献度

別紙 : ボランティア活動の定義等

◇評価基準

平成28年度から令和2年度に、愛護活動、公共施設への緊急出動、防災パトロール、森林整備活動、林道沿線の清掃活動のボランティア活動を毎年1回以上かつ延べ5回以上行ったことがあるか。

- ・前年度に山地防災ヘルパーに登録している社員を雇用し、山地防災ヘルパーの活動を行ったことがあるか。
- ・環境マネジメントシステムの導入、温室効果ガス排出抑制計画に基づく温暖化対策の実践活動、「かごしまCO2吸収量認証制度」で認証された森林整備の地球温暖化対策活動を現在行っているか。
- ・消防団員に所属している社員を現在雇用しているか。

◇公共施設への緊急出動、防災パトロール、愛護活動、森林整備活動、林道清掃活動のボランティア及び山地防災ヘルパー活動、地球温暖化対策活動の定義

区分	用語	定義	具体例
①	公共施設	国・県・市町村の管理施設	道路施設(直轄国道、国道、県道、臨港道路、市町村道、農道、林道、登山道) 河川施設(直轄河川、一級河川、二級河川、準用河川、普通河川) 海岸施設、砂防施設、治山施設 公園施設(県管理公園、市町村管理公園) 港湾施設(県管理港湾、市町村管理港湾) 漁港施設(県管理漁港、市町村管理漁港) 公的施設(保育園、学校、公営の共同墓地等)
	愛護活動	維持管理	道路清掃(伐採、ゴミ拾い)、除雪作業 河川清掃(伐採、ゴミ拾い) 海岸清掃(伐採、ゴミ拾い) 砂防清掃(伐採、ゴミ拾い) 治山清掃(下刈、ゴミ拾い)
		啓発活動等	施設利用者へのチラシ配布 その他、愛護活動としてふさわしいもの(インターシップ等)
	緊急出動	災害発生現場で緊急的な復旧活動を行うこと	崩土取り除き、危険箇所へのバリケード設置、土のう設置 (応急工事等有償によるものは除く)
	防災パトロール	台風、大雨、地震発生後、公共施設のパトロールを行い、被災の有無を報告すること	道路パトロール、河川パトロール、砂防パトロール、海岸パトロール、港湾パトロール、漁港パトロール、治山パトロール
	防疫活動	家畜伝染病予防法に基づく防疫活動実績	口蹄疫や鳥インフルエンザ等における、県又は市町村が設置した消毒場所での消毒活動
	森林整備活動	森林整備は、植栽、保育等の育林作業のボランティアの実績の有無	県、市町村、NPO団体等が行う「森林整備」活動に会社として参加
	林道沿線の清掃活動等	林道沿線の清掃活動	林道沿線の清掃活動に会社として参加
②	山地防災ヘルパー活動	山地防災ヘルパーを雇用し、活動を行うこと	(1) 山地災害に関する情報収集、災害時要援護者関連施設及び山地災害危険地区の周知、自主防災組織の育成・強化等の山地防災ヘルパー活動 (2) 山地防災ヘルパー講習会、研修会への参加
	地球温暖化対策の活動	地球温暖化対策の活動を行うこと。	(1) 環境マネジメントシステム (ISO14000シリーズ)の導入 (2) 鹿児島県地球温暖化対策推進条例における「温室効果ガス排出抑制計画」に基づく太陽光発電や風力発電、バイオマスエネルギーなどの新エネルギーや電気自動車・ハイブリッド重機の導入などの実践活動 (3) 「かごしまCO2吸収量認証制度」で認証された森林整備活動

注)アンダーラインは、環境林務部関連である。

◇ ボランティア活動単位の定義

ボランティア活動単位	評価	理由
個人で参加	×	組織として活動していない為
会社で参加	○	組織の地域貢献を評価
地域の人達と一緒にあって会社として活動	○	組織の地域貢献を評価

◇ 毎年1回以上かつ延べ5回以上行ったことの定義

ボランティア活動	評価
同じ場所や活動を毎年1回以上かつ延べ5回以上実施	○
違う場所や活動を毎年1回以上かつ延べ5回以上実施	○
毎年1回以上かつ延べ5回以上実施したことをまとめて記載	○
毎年1回以上かつ延べ5回以上実施したことをそれぞれ記載	○

※ 過去5年間のボランティア活動等による地域貢献の実績には、道路管理委託業務の実績やサポート推進事業の活動実績は含めない。

[市町村又は消防団の証明書の例]

消防団員雇用状況確認（申請）書

令和 年 月 日

（市町村消防団員担当課の長） 殿

所在地
商号又は名称
代表者氏名

鹿児島県が発注する建設工事の総合評価方式技術資料の申請にあたり、下記の者が貴市町村の消防団員として任命されていることを確認して頂きますよう申請します。
なお、申請にあたっては、下記の者が当社における正規雇用職員であることを誓約いたします。

記

氏名	交付年月日 (又は任命日)	住所	生年月日

上記記載の内容に相違ないことを確認します。

令和 年 月 日

市町村消防団員担当課の長

印

[市町村との森林災害協定を締結している団体の証明書の例]

加入状況証明（申請）書

令和 年 月 日

（市町村との森林災害協定を締結している団体の代表者）殿

所在地
商号又は名称
代表者氏名

鹿児島県が発注する建設工事の総合評価方式技術資料の申請にあたり、弊社が貴団体に加入していることを証明して下さるよう申請します。

貴社が当団体に加入していることを証明します。

令和 年 月 日

市町村との森林災害協定を締結している団体の代表者

印